

炭疽病および萎黄病に抵抗性をもつイチゴ種子繁殖型品種

「MYAGMIE-1」

利用対象：イチゴ生産者

◎三重県農業研究所は、株式会社ミヨシと共同でイチゴの種子繁殖型新品種「MYAGMIE-1」を開発しました。

◎「MYAGMIE-1」は草勢が強く、炭疽病および萎黄病に抵抗性を持つ上、果実は円錐形で赤く、果皮の硬い果実品質に優れた品種です（図、表）。

◎一季成りで早生性を有し、促成栽培作型に適します。セル苗を7月に鉢上げしてポット育苗を行うと、11月下旬から収穫開始します。

◎三好アグリテック株式会社から、商標名「ベリーポップ すず」として苗が販売されています。



図 「MYAGMIE-1」の草姿（左）、着果状況（中）、果実（右）

表 病害抵抗性の比較および果実品質

品種	炭疽病抵抗性	萎黄病抵抗性	果実品質 ^x		
	枯死株率(%) ^z	発病指数 ^y	果実硬度(N)	糖度(Brix)	酸度(%)
MYAGMIE-1	0	0.0	1.53	11.2	0.56
よつぼし	100	0.8	1.19	11.2	0.70
かおり野	44	-	1.14	11.2	0.52
宝交早生	67	2.8	-	-	-
芳玉	-	0.0	-	-	-

z:9cmポット苗。炭疽病菌懸濁液を株あたり約10ml噴霧接種し、8週後の枯死株率を調査。

y:9cmポット苗。萎黄病菌懸濁液を株あたり15ml灌注接種し、16週後の発病指数(0:症状無し, 1:奇形, 2:矮化, 3:萎凋, 4:一部枯死, 5:枯死)を調査。

x:2020年12月から5月に収穫した果実について、果実硬度(直径3mmのプランジャー)を測定。6月に解凍滲出液を採取して、糖度(Brix値)、滴定酸度を測定。

お問い合わせ先	生産技術研究室 野菜園芸研究課 小堀純奈 電話 0598-42-6358
参考になる資料	https://www.pref.mie.lg.jp/nougi/hp/74882027005.htm (三重農研HP) https://www.miyoshi-agri.co.jp (三好アグリテック(株)HP)